【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公表番号】特表2008-511028(P2008-511028A)
【公表日】平成20年4月10日(2008.4.10)
【年通号数】公開・登録公報2008-014
【出願番号】特願2007-528559(P2007-528559)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｂ　5/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｂ　5/08

【手続補正書】
【提出日】平成20年6月9日(2008.6.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
解剖用試料共有システムであって、
中央制御コンピュータと、中央制御ソフトウェアとを有する中央制御システムと、
コンピュータと、複数の画像分割装置と、画像収集のための１つ以上の解剖台ユニットと、を少なくとも含むルーム端末システムを備え、
前記１つ以上の解剖台ユニットは、各々の制御ケースを有し、
前記ルーム端末システムのコンピュータは複数の画像分割装置に接続され、前記画像分割装置は前記１つ以上の解剖台ユニットの各々の制御ケースに接続され、
前記ルーム端末コンピュータは、前記制御ケースにおける接続を介して、１つ以上の解剖台ユニットの制御が可能となり、
前記中央制御システムおよび前記ルーム端末システムは、両方のシステムそれぞれが持つコンピュータの間のネットワークによって互いに接続され、
前記中央制御システムおよび前記ルーム端末システムは、収集、情報解析および処理を行うソフトウェアを通じて互いに通信することができることを特徴とする解剖用試料共有システム。
【請求項２】
請求項１記載の解剖用試料共有システムであって、
前記ルーム端末システムのコンピュータにより、前記制御ケースにおける接続を介して、指示信号が送信され、
前記解剖台ユニットは、前記指示信号を受信すると、前記解剖台ユニットのモニターに画像を出力し、前記解剖台ユニットの前記制御ケースに接続された画像分割装置に画像を出力し、
前記画像分割装置は、前記ルーム端末システムのコンピュータに画像を送信することができ、
前記ルーム端末システムのコンピュータは、前記中央制御システムに画像を送信することができる解剖用試料共有システム。
【請求項３】
請求項１記載の解剖用試料共有システムであって、
前記ルーム端末システムのコンピュータにより、前記制御ケースにおける接続を介して

、指示信号が送信され、
各々の制御ケースのＭＣＵ（マイクロコントローラーユニット）は、前記指示信号を受信すると、前記指示信号を復号化して制御信号とし、各解剖台ユニットの可動自在クレードルと拡大ビデオカメラに、前記制御信号に従って画像を収集するため、前記制御信号を送信し、
前記画像は、解析と処理のため前記ルーム端末システムのコンピュータに送られる解剖用試料共有システム。
【請求項４】
請求項１又は２記載の解剖用試料共有システムであって、
各々の前記１つ以上の解剖台ユニットは、可動クレードルヘッドと、固定されず可動のハンディビデオカメラ、又は前記解剖台ユニットの解剖台の上のある位置に固定される拡大ビデオカメラを含み、
前記制御ケースの接続により、画像を前記画像分割装置に送ることが可能となり、
前記ルーム端末システムのコンピュータは、各解剖台ユニットの前記制御ケースに接続され、前記コンピュータは各前記制御ケースユニットを介して各解剖台を制御することができる解剖用試料共有システム。
【請求項５】
請求項１乃至４の何れか１項記載の解剖用試料共有システムであって、
各々の前記１つ以上の解剖台ユニットは、ハンディビデオカメラと、拡大ビデオカメラとを含む解剖用試料共有システム。
【請求項６】
請求項５記載の解剖用試料共有システムであって、
前記ルーム端末システムのコンピュータは、前記１つ以上の解剖台ユニットの前記制御ケースに指示信号を送り、前記拡大ビデオカメラが前記指示信号に従って画像を収集するよう制御することができる解剖用試料共有システム。
【請求項７】
請求項５又は６記載の解剖用試料共有システムであって、
前記ハンディビデオカメラ又は拡大ビデオカメラにより収集された画像データは、前記中央制御システムのコンピュータに送信することができる解剖用試料共有システム。
【請求項８】
請求項５乃至７の何れか１項記載の解剖用試料共有システムであって、
前記拡大ビデオカメラのズーミングの程度と角度の制御は、制御キーと制御ソフトウェアにより制御することができる解剖用試料共有システム。
【請求項９】
請求項８記載の解剖用試料共有システムであって、
前記拡大ビデオカメラは、可動自在クレードル内に保持される解剖用試料共有システム。
【請求項１０】
請求項５乃至９の何れか１項記載の解剖用試料共有システムであって、
前記拡大ビデオカメラは、３５９度回転可能な１：２２連続ズーム光学レンズを有する解剖用試料共有システム。
【請求項１１】
請求項８又は９記載の解剖用試料共有システムであって、
前記制御キーは、前記拡大ビデオカメラを手による制御、または足踏み制御するための制御キーボードである解剖用試料共有システム。
【請求項１２】
請求項１乃至１１の何れか１項記載の解剖用試料共有システムであって、
オーディオシステムを備え、前記ルーム端末システムのコンピュータと、前記１つ以上の解剖台ユニットとの間で音声通信することができる解剖用試料共有システム。
【請求項１３】

請求項１２記載の解剖用試料共有システムであって、
前記オーディオシステムは、前記ルーム端末システムのコンピュータに接続されたワイヤレスインターフォン、またはマイクロフォンパワーアンプシステムを備える解剖用試料共有システム。
【請求項１４】
請求項１３記載の解剖用試料共有システムであって、
一般オーディオ制御ケースの一端は、前記ルーム端末コンピュータと前記中央制御システムのコンピュータの両方の音声カードに接続され、もう一方の端は、それぞれの解剖台ユニットの前記制御ケースの内側にあるオーディオ制御装置に接続される解剖用試料共有システム。
【請求項１５】
請求項１乃至１４の何れか1項記載の解剖用試料共有システムであって、
前記中央制御ソフトウェアは、ユーザ管理、ビデオ録画を制御し、動画又は静止画の取得を行い、ホワイトバランスを調整し、アクティブフィルター機能を適用する解剖用試料共有システム。
【請求項１６】
請求項１乃至１５の何れか１項記載の解剖用試料共有システムであって、
前記中央制御ソフトウェアは、収集した画像データを解析し、解析した結果を前記ルーム端末システムのコンピュータに送ることができる解剖用試料共有システム。
【請求項１７】
請求項１乃至１６の何れか１項記載の解剖用試料共有システムであって、
前記制御システムのコンピュータは、各々の前記ルーム端末システムの１つ以上のコンピュータに接続されている解剖用試料共有システム。
【請求項１８】
請求項１乃至１７の何れか１項記載の解剖用試料共有システムであって、
前記１つ以上の解剖台ユニットの１つにより収集された画像を表示することができる投影システムを備える解剖用試料共有システム。
【請求項１９】
専門家から複数のユーザに解剖用試料に関する情報を転送するための情報転送方法であって、
前記解剖用試料が解剖されるときに、前記解剖用試料の画像を収集する段階を備え、
前記専門家は、解剖の間にどの画像を収集するか決めることができ、解剖または解剖用試料に関する情報を前記専門家から前記複数のユーザに送信することができる情報転送方法。